

短期で
儲けようとする
のは投資では
ないんだね



考えるからです。でも、それは「投機」であって、投資ではありません。投資は長い期間をかけて、コツコツとお金を育てていくものです。「投機と投資は、まったく別物」ということをぜひ覚えておいてください。

長い時間をかけて育てるのが投資ですから、できるだけ若いころから取り組んだほうがメリットは大きいですね。でも、何歳からでも遅くはないし、年金受給者でも取り組んだ方がいいと、僕は思います。中には、定年を機に投資をやめる、という方もいるようですが、定年からあとの人生の長さを考えてみてください。今、70歳だとしても、まだあと10年、20年の猶予があります。その間の購買力を維持するために、投資は役立ちます。

購買力を
維持しよう

たとえば、物価が上昇してくると、その上昇分だけお金の価値が下がっていきます。仮に、2%の物価上昇が36年間に続けば、お金の価値は半減します。今なら1万円で購入するものが、2万円出さないと買えなくなるからです。

しかも、受け取れる年金の額も、マクロ経済スライドによる調整が行われるため、物価上昇分に見合うだけの上乗せではなく、調整率分だけ抑制されます。年金の、実際の使い出は、少しずつ減っていくわけです。

ところが、資産活用によって、物価上昇分2%のリターンを得ていれば、資産価値の減少は防げます。加えて、年金の抑制分だけ、リターンをさらに上乗せできれば、年金の使い出の低下をカバーできます。

また、定年後は、資産を取



岡本和久 (おかもと・かずひさ)

I-Oウェルズ・アドバイザーズ株式会社* 代表取締役社長
クラブ・インベストライフ主宰
投資教育家 & ファイナンシャル・ヒーラー*
CFA協会認定証券アナリスト

米国コロンビア大学留学後、1971年、慶応義塾大学経済学部卒業。日興証券(株)入社、ニューヨーク現地法人、情報部などで証券アナリスト・ストラテジスト業務に従事、1992年退社。パークレイズ・グローバル・インベスターズ日本法人を設立し、代表取締役社長として年金運用業務に関わる。2005年、同社が年金運用資産額で業界トップになったのを機に退職。同年5月、個人投資家向け投資セミナーを行うI-Oウェルズ・アドバイザーズ(株)を設立。長期投資家や子供のためのマネー教育等を全国で展開。

世界に投資しよう

投資と投機は、
ちがう

「投資」というと、何か特別なこと、難しいことと思ってる方が多いと思いますが、実は歯磨きと同じようなものなのです。若いころからやっておかないと、歳をとってから、歯が少なくなってしまうって困る。それが歯磨きですね。ところが、正しい歯磨きの方法を知って、習慣として身につけてしまえば、あとは頭を使うこともないし、時間もたいて必要なものでもない。実は、投資も同じようなものです。将来の為に、誰もが取り組むべきもので、手間もかからないし、さほど難しいものでもありません。

投資が難しいと思われているのは「短期間で儲けよう」と

年金生活者も、資産活用は必要？

毎年2%のインフレで資産価値はどう変わる？

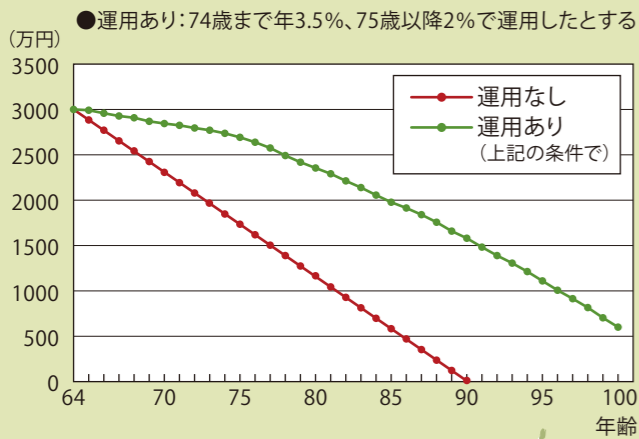


預金が目減りするインフレリスク

10,000円の物はいくらになる？
100万円の資産価値はどうなる？



64歳末で3000万円の資産を保有しており、
65歳から毎年120万円を引き出した場合



運用益で
100歳まで生きても
安心!

り崩しながら生活している方が大半ですが、リターンをさらに上乗せできれば、その分だけ資産ゼロになる時期を後ろ倒しにできます。

資産活用は、購買力を維持し、資産を長持ちさせるために、とても大切な取り組み、と僕は思います。

もちろん、投資は絶対にしななければいけないものではありません。資産活用などしなくても十分に将来を賄えるだけの資産がすでにある方もい

るでしょう。あるいは、値動きが気になって精神的に耐えられない、という人もいます。う。本当は、毎日の値動きに一喜一憂するのが投資ではないのですが、それでも投資をすることによって精神的に不安定になるようでは、投資の意味がありません。

投資をする、しない、どちらの場合にもリスクがありますから、自己責任で判断することが必要です。